



白二小だより

令和8年3月2日発行
学校だより No.13
白井市立白井第二小学校

考えを伝える



もうすぐ卒業式があります。6年生は、自分たちの「別れの言葉」を自ら紡ぎ出しました。自身の言葉で伝える、心のこもったメッセージです。

1月に、これまでの小学校生活を振り返り、6年間の成長を一人一人がノートに書きました。どの児童もびっしりと言葉が綴られています。こんなにたくさんの成長を実感できたのですね。どの言葉も伝えたい。でも話す時間は限られている。友だち同士の内容の調整も行い、ようやく完成しました。

思いがあらわれて、伝えたいことがたくさんある。4月に出会った頃はこんな6年生だとは思いませんでした。自分の思いを話さない、書かない子もいました。それが、「毎時間、必ず自分の考えを話す（書く）」という積み重ねによって、ここまで成長しました。



子どもたちは、経験することで日々成長します。どの学年も、この1年間で大きく成長しました。教員にとって、3月はこの喜びを子どもたちと分かち合う嬉しい季節です。

どうぞ、ご家庭でも1年間の成長を振り返り、すてきな時間をお過ごしください。

校長

地域猫活動御支援の御礼

本校有志の児童と教職員が地域猫活動（通称猫部）を行っています。飼い主のいない猫が増えないように、大切な命を守るために餌を与え、新たな飼い主へとつないでいく活動です。この度、地域の方より餌や餌代の寄付を頂きました。ありがとうございました。猫部一同

学校では、この活動が、アレルギーの方や衛生面等に配慮が十分であるか見守っています。今後とも、御理解と御協力をお願いします。

特別じゃない特別支援教育

特別支援教育という言葉を知ると「特別な子のためのもの」と感じる方もいるのかもしれませんが。特別支援教育は、「その子にあったやり方で学びやすくする工夫」のことです。メガネをかけると黒板が見えやすくなるのと同じで、ちょっとした支えがあることで、子どもは力を出しやすくなります。

学校では、全ての学級において、席の位置を工夫したり、説明や指示を短く伝えたり、絵や実物を使ったりとさまざまな工夫が行われています。

保護者の皆様に大切にしてほしいのは、「うちの子だけ・・・」と悩みすぎないことです。困り事があるのはめずらしいことではありません。気になることがあれば早めにご相談ください。この困り感を家庭と学校と一緒に考えることで、子どもは、安心して成長できます。

特別支援教育は、子どもを特別扱いするためのものではありません。「その子らしく学ぶ」ための大切な支えです。私達と一緒に子ども達の成長を見守っていきましょう。
(本年度入学説明会より抜粋)

☆卒業式に向けて！☆

4日（水）に4、5年生児童、みどりの里づくり協議会の皆さん、PTAの役員さんが、体育館の環境整備を行いました。ギャラリーやステージ裏など、普段はなかなか掃除できない場所が、見違えるほどきれいになりました。ありがとうございました。



☆離任式のお知らせ☆

3月24日（火）の修了式後に離任式を行います。
8：40 修了式（在校生で実施）
9：30 離任式（卒業生も参加）
10：05 卒業生下校（スクールバスあり）
11：25 在校生下校（スクールバスあり）
なお転出等職員については、24日（火）AM6:00にLINE配信の予定です、